

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	(株) 井手塾 放課後等デイサービスまた明日あらい		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 16日		~ R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R8年 2月 16日		~ R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者に関する職員間での情報共有が都度細かく行われていること。また保護者とのコミュニケーションや情報共有が密にできていること。	・職員間では朝礼や終礼、その他気になることがあったタイミングで情報共有し、ミーティング記録に記録することで全職員で確認ができる環境を整えている。 ・共有だけでなく、必要に応じて即時対応を心掛けている。	・保護者とのコミュニケーションを大事にし、ニーズや要望を汲み取りながら支援内容や方法に反映させていく。
2	・支援内容や活動内容について、利用者の現状に合わせ、必要な支援を職員で検討し決定していること。	・利用者とのコミュニケーションから興味や意欲を引き出し、それを基に活動内容や支援内容を決定している。 ・地域で行われる行事や活動へ参加している。 ・活動を定める際は、担当職員だけでなく、職員全員で意見を出し合い、より良い活動を提供できるようにしている。	・小1～高3まで対象であることを活かし、縦割りの関わりを意識させながらいろいろな経験や活動に取り組みめるように内容や声がけを工夫する。 ・地域との関わりをより密にできるよう、地域で行われるイベントへの関わりを意識しながら活動内容を決定する。
3	・支援の満足度が高いこと。	・利用者や保護者に寄り添い、積極的なコミュニケーションを行うことで、安心して通える事業所を目指している。 ・利用者の将来を見据えて、これができるようになってほしい、こんな風になってほしいという思いを常に持って支援にあたっている。	・新規利用者と既存利用者分け隔てなく、関係構築や支援を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・指導室が狭い点や、玄関に段差がありバリアフリーではない、といった設備面。	・部屋が1室のみで広くなく、定員に対する支援スペースが手狭である。また玄関へ繋がるスロープ等が存在せず、階段を通らないと玄関へ行けないこと。	・公共施設の利用も随時行い、活動内容に合わせた環境での支援を提供する。
2	・年齢に合わせた支援が行いづらいこと。	・対象年齢が小1から高3までと広く、年齢による活動の振り幅が大きい。	・学年幅が広いことによる、多角的な関わりや交流ができるというメリットを活かしつつ、学年を問わない活動となるよう内容を都度検討していく。 ・活動内容によっては、教材を複数パターン作り、利用者に合わせて内容となるよう工夫している。
3			